

2022年 大学入学共通テスト

共通テスト追試験 受験許可者1,658人

前年より63人減少も、コロナ感染・濃厚接触による者は倍増

旺文社 教育情報センター 2022年1月26日

本日、大学入試センターは、1月15・16日に実施された共通テスト追試験の受験許可者の許可事由別の内訳などを公表した。共通テスト追試験は、今週末1月29・30日に実施される。

※本稿で記した前年の数値は、2021年共通テスト“第1日程”に関する数値。

■共通テスト追試験の受験許可者 1,658 人の許可事由別の内訳(人)

	2022年	2021年	
新型コロナウイルス感染症	211	92	(※1)試験当日の体調不良者と疾病の種類が特定できなかった者も含む。
かぜ、インフルエンザ、胃腸炎	406	586	(※2)2022年は、津波に関する交通機関の遅延・運休で受験できなかった者(6人)を含む。
その他疾病 (※1)	729	872	(※3)濃厚接触者で試験当日に受験するための要件を満たしていない者。
負傷	20	22	(※4)親族の危篤・死亡等。2022年は、東京大の本郷地区キャンパス農正門前路上で発生した事件の影響で精神的動揺を受け、受験できなかった者(4人)を含む。
交通機関の遅延、予定外の運休 (※2)	14	0	
コロナ罹患者との濃厚接触者 (※3)	252	132	
やむを得ない事由 (※4)	26	17	
合計	1,658	1,721	

コロナの影響(罹患、濃厚接触)で共テ本試験が受験できず、追試験を受けることになった者は463人で、前年224人から倍増した。濃厚接触者と特定されたが行政検査で陰性、試験当日無症状など所定の要件を満たした別室受験者は320人(前年187人)だった。試験当日の体調不良者で、医師等による「健康状態チェックリスト」での症状確認を行った者は1,018人(同898人)。そのうち、追試験を申請した者が418人(同461人)だった。

今回の共テでは追試験の受験許可の単位は、原則1日単位としつつも、1日目・2日目に1教科・科目でも受験した場合でも、体調不良等の申し出が解答開始の指示前であればその教科・科目を含み以降の試験を対象に、解答開始の指示後の申し出だとその教科・科目は対象外となり次の教科・科目以降の試験が対象となった。激しい咳などで他の受験生に影響があるとして監督者が中断を指示した場合は、中断したその教科・科目を含み以降の試験が対象だった。

一昨年までのセンター試験では1日目または2日目に、1教科・科目でも受験した者は、その試験日は追試験の対象外だった。コロナ禍前の2020年センター試験直近5年間の追試験の受験許可者数は2019年の643人が最多。新型インフルエンザ流行時の2010年センター試験でも972人だった。

文部科学省は1月11日、コロナの影響で共テ本試験・追試験ともに受けられなかった受験生については各大学の個別試験で合否判定することや、同様の理由で個別試験の本試験・追試験を受けられない受験生には再度の追試験の実施など、受験機会のさらなる確保について、大学に要請した。もともと約99%の大学が、追試験や振替日程などでの受験機会の確保を公表していたが、それに加えての要請だ。

文科省からの要請を受け、現在各大学からは、さらなる受験機会の確保の対応がホームページで公表されつつある。

現状では「該当者は相談窓口へ連絡」「検討中／決定次第公表する」「共テ利用入試では受験料返還（私立大）」が目立つなか、「共テまたは個別試験を受験できない場合、公正な合否判定が困難なため、さらなる追加措置は予定していない」（旭川医科大／1月20日公表）、
「共テを課す選抜について、コロナの影響での共テ未受験者は、個別試験と出願書類等で総合的な判定を行う」（金沢大／1月17日公表）、「一般選抜志願者で、コロナの影響での共テ未受験者は個別試験で合否判定。その者が同様の理由で個別試験も受験できなかった場合は特例追試験（本人記載資料、小論文、面接、調査書など）を実施」（静岡大／1月21日公表）など、対応を示している大学もある。

2月からの一般選抜を前に、“第6波”によりコロナ陽性者の増加が連日報じられている。受験機会のさらなる確保関連に限らず、入試実施に関する各種情報は、志望校のホームページで最終確認をしてほしい。

(2022.1 加納)